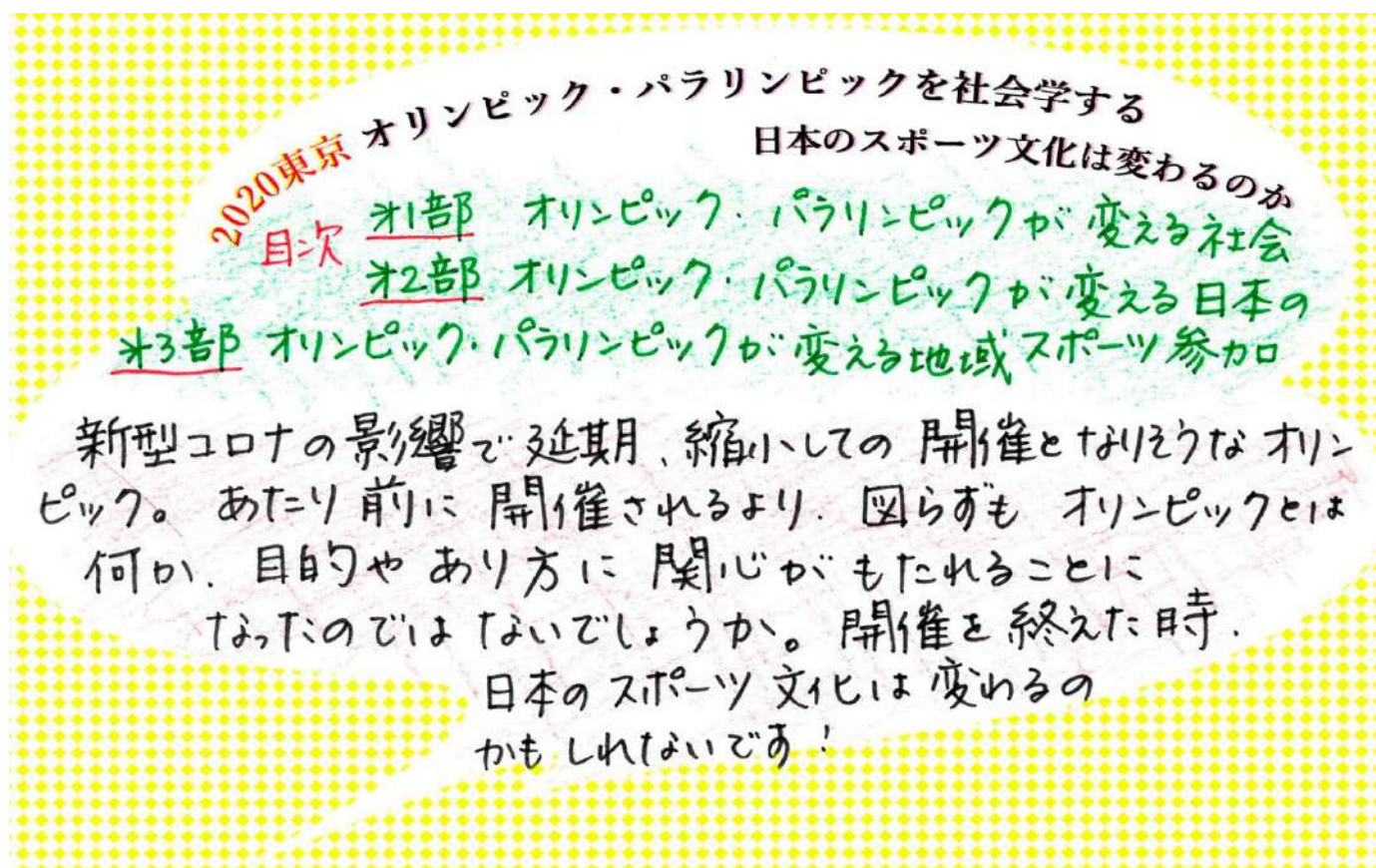
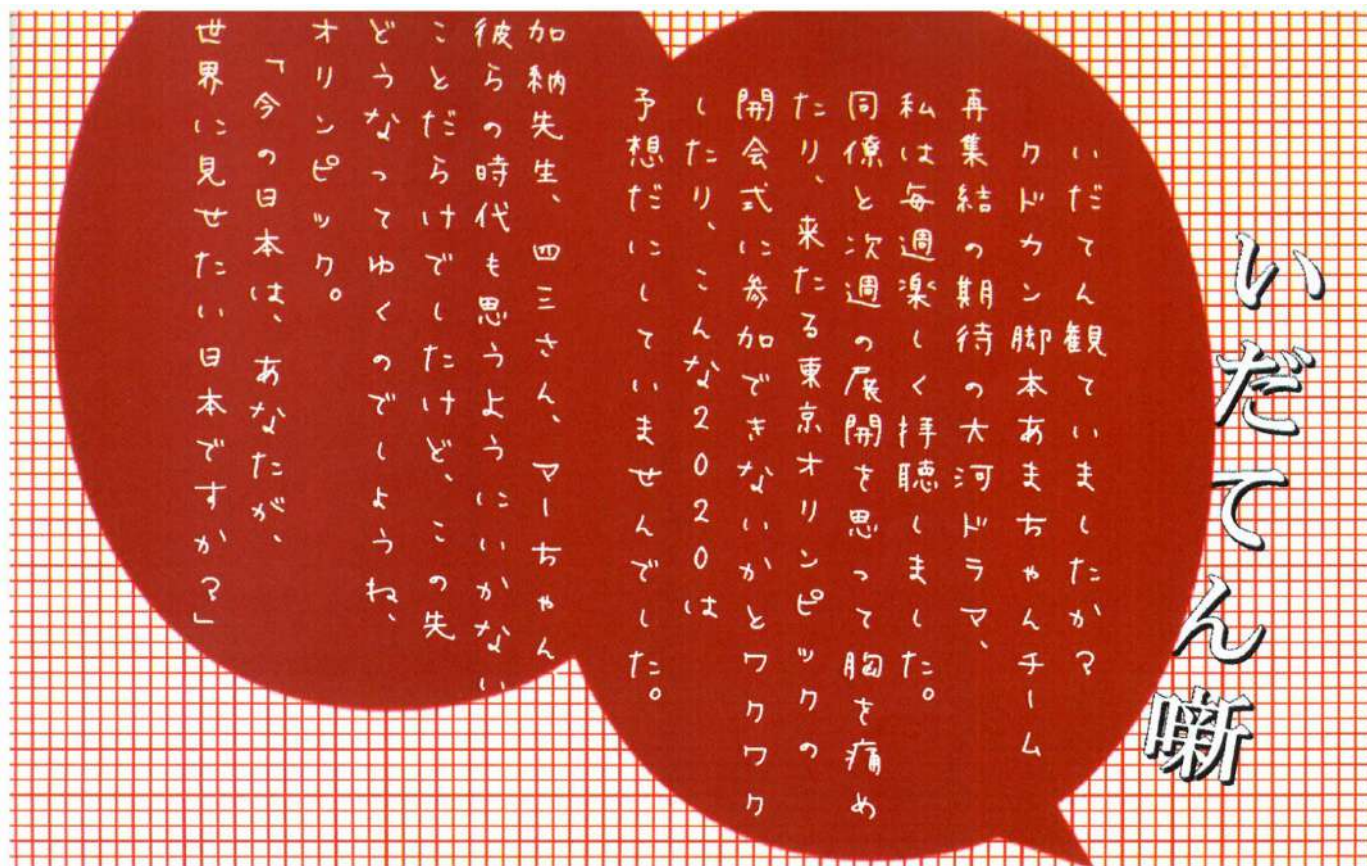
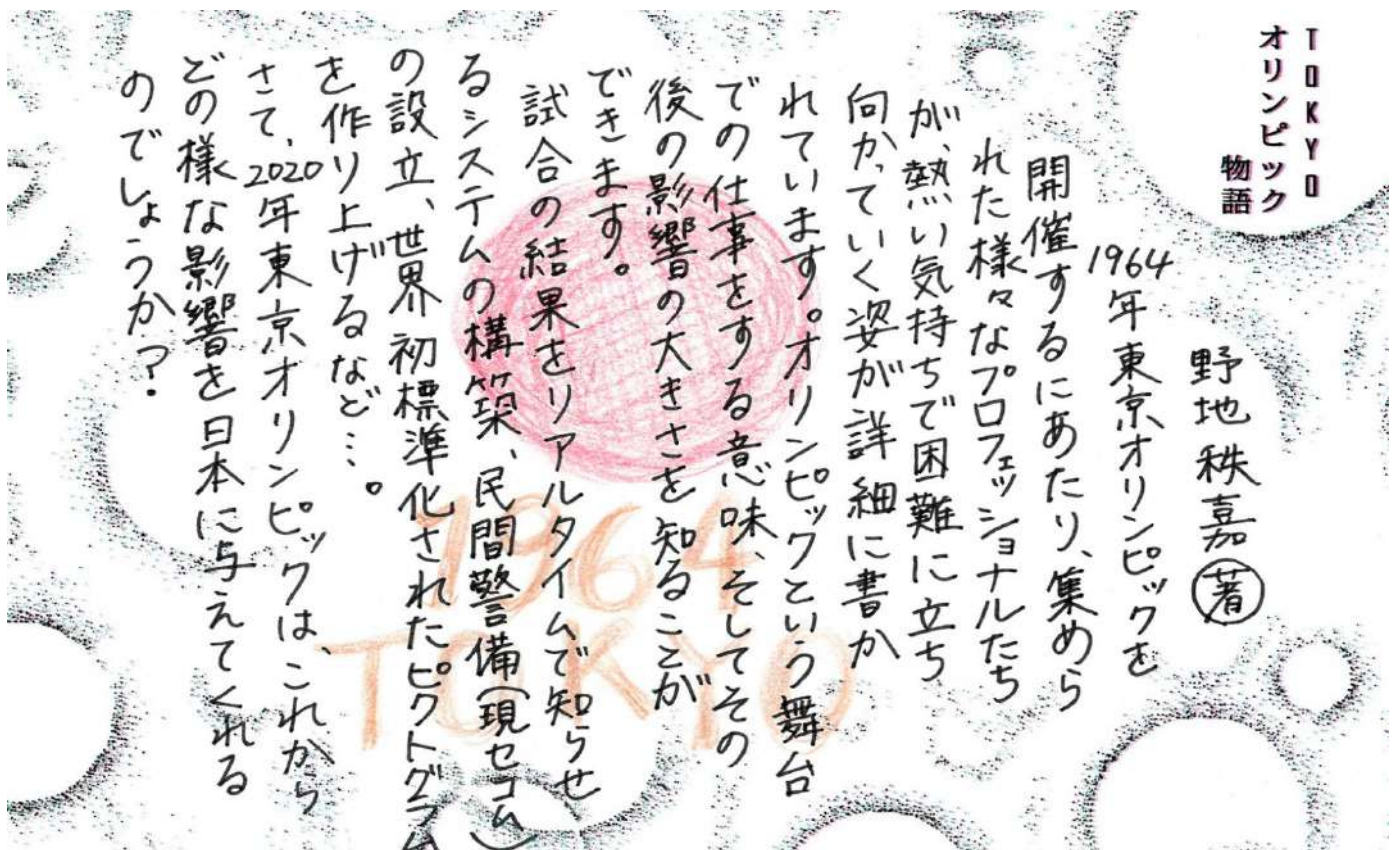
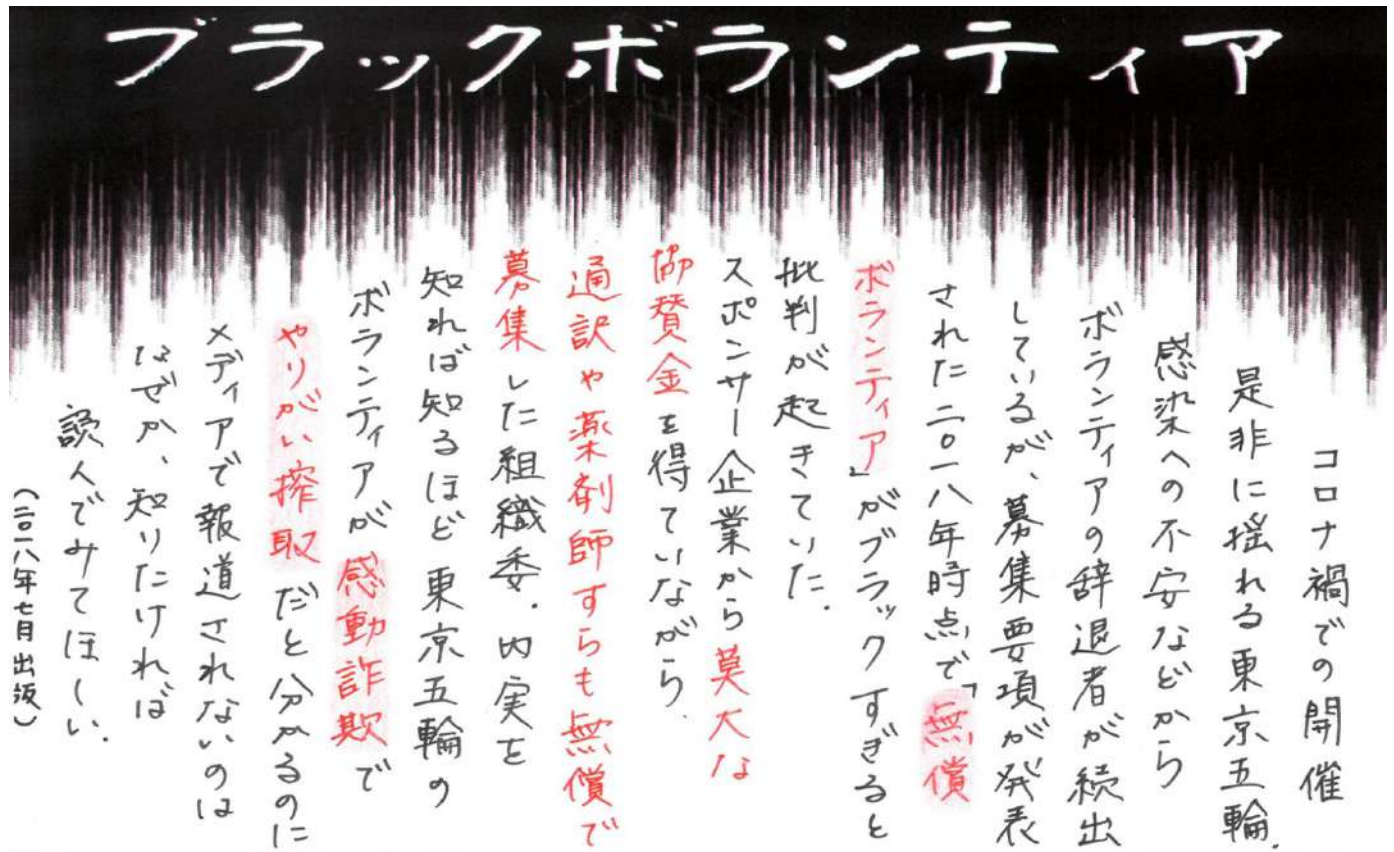




	書名	著者名	請求記号
1	いだてん噺	細馬宏通著	778/Ho
2	2020東京オリンピック・パラリンピックを社会学する：日本のスポーツ文化は変わるのか	日本スポーツ社会学会編集 企画委員会編	780/Ni
3	ブラックボランティア	本間龍著	780/Ho
4	TOKYOオリンピック物語	野地秩嘉著	780/No
5	学問としてのオリンピック	橋場弦、村田奈々子編	780/Ha
6	オリンピックという名の虚構：政治・教育・ジェンダーの視点から	ヘレン・ジェファーソン・レンスキー著、井谷恵子、井谷聡子監訳	780/Le
7	空に向かって	安藤美姫著	784/An
8	東京の子	藤井太洋著	913.6/Fu
9	バタフライ：17歳のシリア難民少女がリオ五輪で泳ぐまで	ユスラ・マルディニ、ジョジー・ルブロンド著、土屋京子訳	785/Ma
10	命がけの証言	清水ともみ著	316/Sh
11	オリンピックの身代金	奥田英朗著	913.6/615
12	対談・座談 現代スポーツの論点：オリンピック・パラリンピックレガシーを語り尽くす	友添秀則編著	780/To
13	1	猪谷千春著	780/Ig





神々の父ゼウスに捧げる宗教的祭典だった古代オリンピック
 古代ギリシア世界のくまのものをみる、人生観とは？
 ソクラテスやプラトンは、肉体と精神の結びつきを説き、
 肉体の鍛錬も怠らなかつた、古代ギリシアの詩人、哲学者、
 弁論家たちの言説から読み解くオリンピックを折衷とは？
 ギリシア美術品である壺絵や彫刻、またオリンピックの
 遺跡から想像される古代オリンピックとは？
 古代から今日のオリンピックに至るまで、多くの競技種目に
 共通する基本的な動き、「走る」、「跳ぶ」、「投げる」と、
 スポーツバイオニクスの視点から分析するとどうなる？
 近代オリンピック発案者クーベランの「スポーツを通じて
 道徳的、倫理的人間を形成する」という普遍的な理念と
 第1回近代オリンピック開催地ギリシアにおけるナシナリ
 スムの対立。その一世紀以上を経た今、変わったもの
 変わっていないものとは？

歴史・哲学・芸術・スポーツ科学の視点から
 オリピックを学べる、東大教養学部のリレー講義から生まれた本です

「学問としてのオリンピック」

オリンピックという名の虚構

政治・教育・エンターの視点から

東京オリンピック開催の是非が議論されてきた。

この本では
 メディアで報道されない
 オリンピックの闇の部分を
 知ることになる。

それを知ったら
 「オリンピックとは何なのか？」
 という問いに対して
 今までとは別の答えに
 たどり着くかもしれない。

空に向かつて

安藤美姫

あなたにはどんなイメージでしたか

フィギュアスケートファンひとりとして今年7月というのはやはり東京五輪ではなく北京五輪のシーズン始まりである。はたしてこの冬はどうなるのかと気が気でない。

東京五輪の現状は応援する気になれず五輪とは何かという原点を見つめ返すこととなったこの1年。ここに人生をかけてきた選手を思うと胸が痛い。選ばれし者・英雄とされていったのに、窮地では特別扱いするなと邪険にされる。持ち上げられたり下げられたり都合よく消費されていくアスリートという存在。イメージと人権を考えたみたい。

日本を代表していた安藤美姫を、当時応援していただけで目にする言葉に傷ついた。あつ頃彼女を取り巻いていたものであったと社会問題として扱われるようになっていくことも多い。史上初4回転を成功させた注目された高校生のころ、性的な目線でパパラッチされていたことへの恐怖を後に語っている。これは現在トップ記事になる女性アスリートを取り巻く大問題だ。トリノ五輪後は多くの誹謗中傷に晒され、インタビューでの質問への答えも言い訳ばかりと批判されていたが、大坂なおミ選手のインタビュー拒否でその是非にも注目が集まっている。もちろんネット中傷も去年から救済が迅速化されている。ソチ五輪直前の突然の出産報告はスキャンダラスに扱われたが、選手の人生活はどこまで干渉されるものなのか。

それでも五輪を目指し全日本選手権では参加者の誰よりも加点の高い完璧な3ルッツを飛んでいた。強い選手だった。

東京の子

藤井太洋著

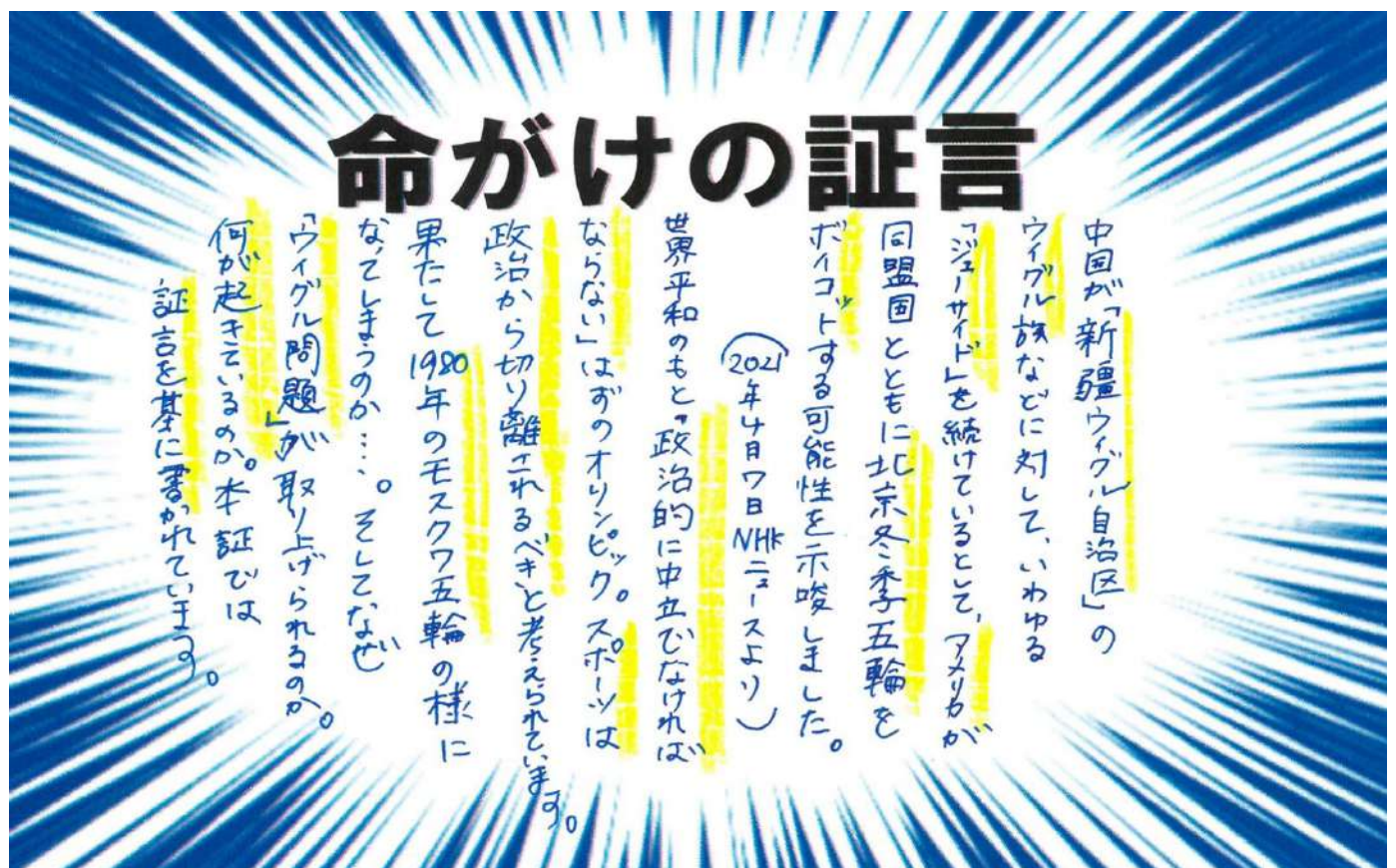
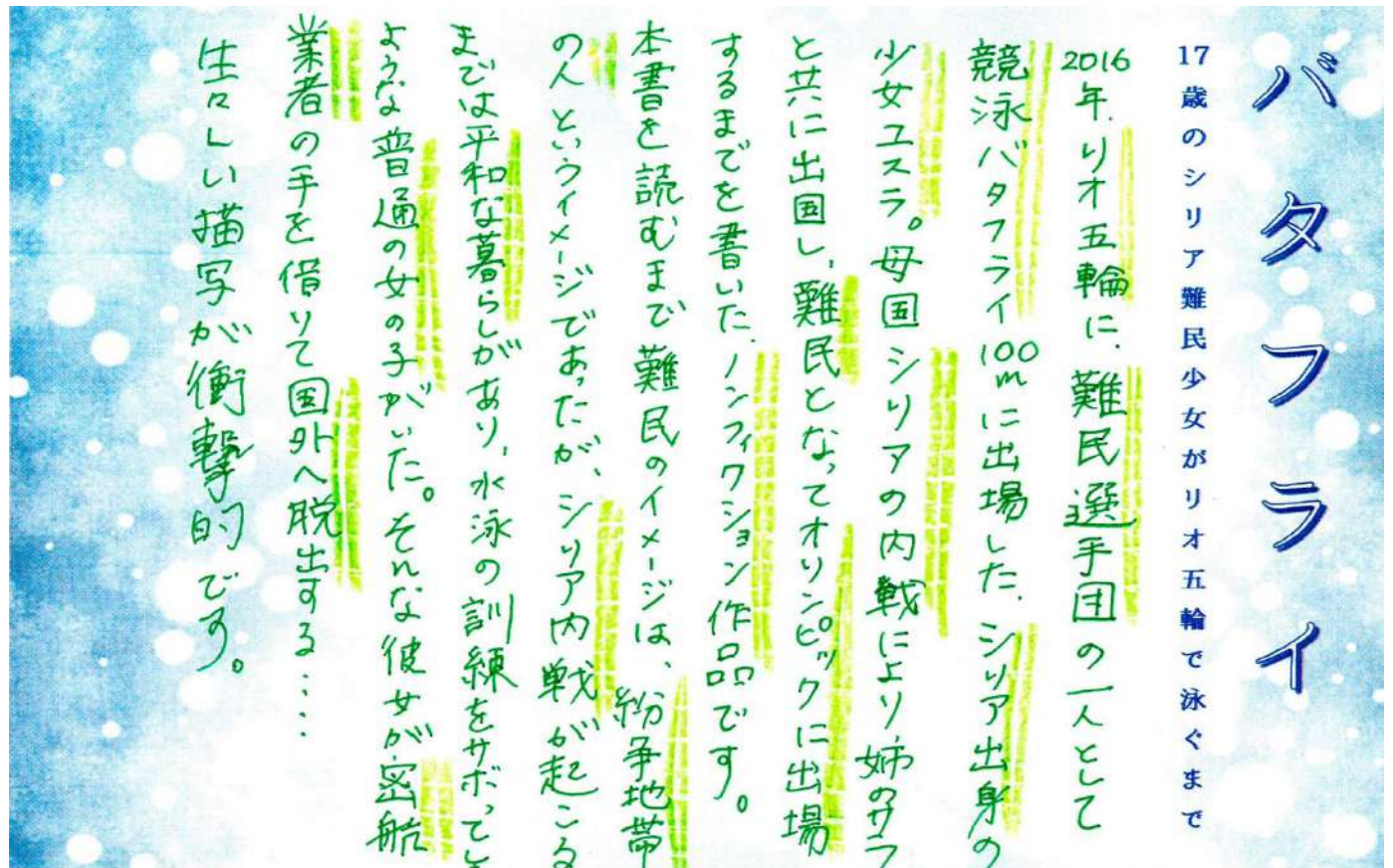
東京オリンピック開催から3年経った、近未来の物語です。開催するに際しての話題ばかりになっていまいか、その後の事を考えてみるきっかけになる、そんな一冊だと感じます。外国人の受け入れ、雇用問題、使用地のその後の利用など、数年後の日本は一体どうなっているのでしょうか？

バルクール

皆さんは知っていますか？

主人公が昔パフォーマーをしていたフランスで生まれたトレーニング方法。走る・跳ぶ・登るといった移動に重点を置く動作を通じて心身を鍛えるスポーツ(運動方法)。

将来、もしかしたらオリンピックの種目になるかも？しれませんね。



オリンピックの身代金

昭和 39年、敗戦という
 苦い経験 から立ち直り、日本は新しい
 時代 に向かって歩き始めたころ。日本はオリン
 ピック開催 国に選ばれ、全国民 がそれを楽しみに
 している いはずだった。「オリンピックのサイをボウガイ
 します」警察に届いた脅迫状とそれを裏付ける爆発事
 件。開催 への影響を考え、秘密裏に捜査が行われる
 ことに。高度経済成長期、オリンピックがもたらす影とは？
 読み終わった後、「もしかしたら、当時本当に起き
 ていた事件なのではないか？」と思わずには
 いられない程の臨場感を
 お楽しみ下さい！

現代スポーツの論点

オリンピック・パラリンピック
 レガシーを語り尽くす

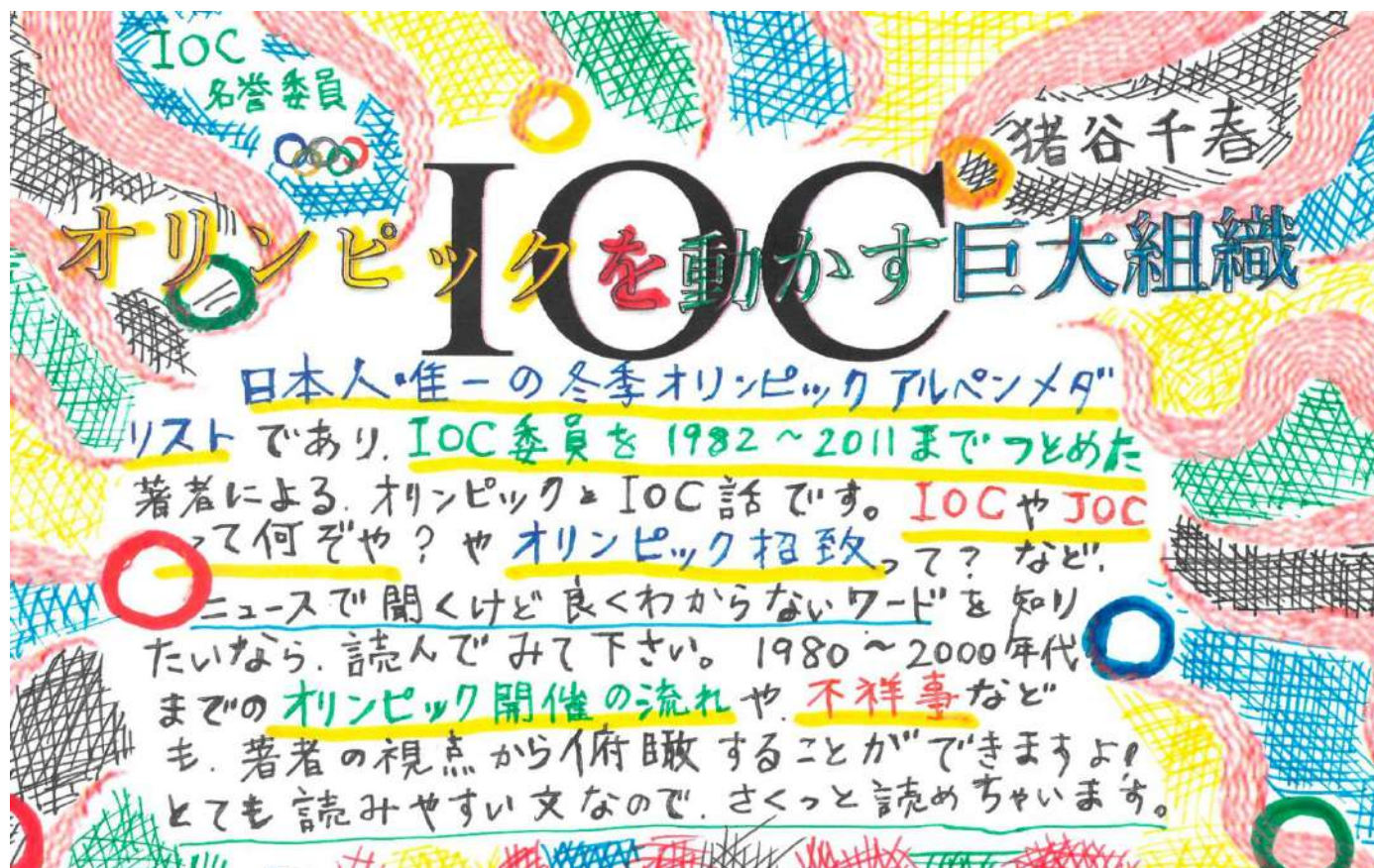
日本のスポーツに関する課題を

現代スポーツ評論の編者である

友添秀則氏が対談・座談したものを
 まとめた一冊。

この中で、日本オリンピック委員会
 (JOC) 会長 山下泰裕氏との対談が特に
 興味深い。

「オリンピックとは何か」も日本のすばらしさ
 の発信と国民がスポーツに親しみかけられ
 なければと話している。二〇一九年のラグビー
 ワールドカップでの日本の魅かの発信と
 成功例として挙げているがコロナ禍では
 難しい。
 スポーツの良さを考える機会になれば
 と個人的には思っている。



愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2021年 7月

オリンピックが開催されてもされなくても、
オリンピックについて考えてみよう!!

